

第2回系統別（営業）意見交換会開催！



11月13日、本部会議室において第2回系統別（営業）意見交換会を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、リモートシステムを併用して開催しました。

①職場活動の強化について

営業職場で発生している職場問題について意見交換を行いました。「相次ぐ窓口閉鎖で業務がひっ迫し、ミスが多発している」「改札窓口を閉めて企画業務を行っているが、ある駅ではカーテンを閉め切って対応しているところもある。MVの利用促進のためのマイプロが立ち上がった」「車いすご利用のお客さまの対応では、超勤ではなく休憩時間をズラして対応している」「企画業務が追い付かず、休日も Teams で部外とやり取りしている」など、悲痛な職場の実態が明らかになりました。

各種施策を通じて会社は何を狙っているのか、今後私たちの働き方がどのように変化していくのか議論を深めてきました。また、JR東労組の必要性を訴える実践では、「相手が何を求めているのか掴み、それに答えること」「役員としてではなく、一人の先輩として仕事やプライベートで関係をつくっている」ことが語られました。そして、職場で発生している諸問題にJR東労組として向き合い、未加入者へ労働組合の必要性を訴えていくことを確認しました。

②年末手当のたたかいについて

職場で青年部員や未加入者から出されている声を共有し、交渉で明らかになった四つの視点について議論しました。参加者からは「現場の働き度は過去最高である。経営陣の見込みの甘さを現場に押し付けないでほしい」「オープン時間前に支給月数を口外している管理者がいた」「何のために頑張ってきたかわからない。経営が厳しいのに野球部のカンパなどやっている場合ではないのでは」など、会社への怒りの声がありました。労働実感・生活実感に向き合わない会社姿勢を明らかにし、職場で社友会に向かう実践をしていくことを確認しました。

次回の意見交換会で実践を持ち寄り、青年部から営業職場の未来をつくり出すこと、そして組織強化・拡大を実現していくことを確認して終了しました。

**若手の悩みを聞けるのはJR東労組青年部だ！
全青年部員で組織強化・拡大を目指そう！**

